

# 二輪車通学許可校 活動紹介

学校名：宮城県涌谷高等学校

所在地：宮城県遠田郡涌谷町涌谷字八方谷三・1

宮城県北部の麓岳山ろくの緑豊かな地域に立ち、昨年創立 90 周年を迎えた伝統校である。公共交通機関が不便であることから、一定基準を満たした生徒の通学に原付バイクの使用を許可し、5月1日現在 31 名がバイク通学している。大きな事故はないものの、ちょっとした判断ミスや運転操作ミスによる事故が多くなっている。平成 21 年度は自転車利用マナーアップモデル校に指定され、学校・地域が連携し、自転車通学者だけでなく全校生徒に対し、交通安全に対する意識の向上・事故の未然防止の様々な取組を行っている。

## 1. 平成 21 年度交通関係の年間指導計画（主として二輪車に関するものを掲載）

月	実施内容	対象	協力関係機関
4	春の交通安全運動街頭指導	全校生徒（バイク置き場の指導、通学時の交通マナー指導）	
	新規バイク通学許可証交付式（1回目）	新規原付バイク通学生	保護者同伴
5	新規バイク通学許可証交付式（2回目）	新規原付バイク通学生	保護者同伴
6	バイク実技講習会	バイク免許取得者全員	日本交通安全普及協会 涌谷自動車学校 二輪車安全普及協会 遠田警察署
9	新規バイク通学許可証交付式（3回目）	新規原付バイク通学生	保護者同伴
10	交通安全教室	全校生徒	遠田警察署
	秋の交通安全運動	全校生徒（バイク置き場の指導、通学時の交通マナー指導）	

## 2. 活動内容

### 交通安全街頭指導（春、秋）

春、秋と年2回、最寄り駅である涌谷駅から学校校門・駐輪場まで全教員が交代制で1週間街頭指導に立っている。バイク通学者に対してはバイク置き場での簡単な車両点検を行いながら指導にあたっている。

### 新規バイク通学許可証交付式（4、5、10月）

新規でバイク通学を希望する生徒に対しては、保護者同伴の上、バイク通学許可証交付式への参加を義務づけている。バイク通学にあたっての注意事項を校長および生徒指導部から指導し、安全運転で通学するよう宣誓する式である。

### バイク実技講習会

日本交通安全教育普及協会指導プログラムによる以下の講習を行った。

- ・車両衝突模擬実験、
- ・バイク実技訓練、
- ・車両点検

### 車両衝突模擬実験見学

車の速度による衝突時の衝撃、制動距離の違いを知るため、プロのドライバーによる模擬実験の見学をした。



## バイク実技訓練

### ○ブレーキング

「スピードの違いで制動距離が変わる」ということを知るために、遅めのスピード、法定速度ギリギリのスピードと2回に分けてブレーキングの実験を行った。

生徒の感想（一部）

- ・ついスピードを出してしまうことが理解できたので、意識的にスピードを調整しようと思う。
- ・スピードを出しすぎてブレーキをかけるとバランスを崩してしまい、危険だということを実感した。
- ・今までブレーキの握りが甘かったことがわかった。
- ・今まであまり意識していなかったが、前輪と後輪のブレーキバランスに気を付けようと思った。
- ・後輪ブレーキを強くかけるとロックがかかるので、前輪ブレーキを強くかけることを学んだ。
- ・いつも何気なくブレーキをかけていたが、正しいブレーキのかけ方がよくわかった。

### ○コーナーリング

「限界速度 25 キロの急なカーブを 35 キロで走らせてどれぐらい、反対車線にはみ出してしまうか」ということを知らせ、カーブに入る手前で減速し、安全な速度で走行することの重要性を理解させる。



生徒の感想（一部）

- ・スピードを出すほど遠心力が大きくなって曲がるのが難しくなるということがよくわかった。
- ・あんなに急なカーブやコーナーリングはしたことがなかったので少し恐かったがとてもよい勉強になった。
- ・スピードの限界がよくわかった。
- ・今までコーナーリングの基本ができていなかったということがよくわかった。

### ○低速バランス

「パイロン2本の関門を6か所設置し低速でバランスを取りながら運転する」というバランスの重要性を知るため実技訓練。

生徒の感想（一部）

- ・やってみてうまくできなかった。
- ・低速ではコントロール技術が必要なことがわかった。
- ・やったことがない体験だったので、とても勉強になりました。

## 交通安全教室

10月9日（金）6校時、全校生徒を対象に、遠田警察署交通課大内課長、涌谷幹部交番南生所長を講師に招き交通安全教室を開講した。自転車・バイクの乗り方や、平成21年6月から義務化された自動車の後部座席シートベルト着用について、実際の事故をもとに、現役の警察官から講話を聞いた。講話後には「交通ルール遵守・自動車の後部座席シートベルト着用」を約束する全校生徒466名分の署名を遠田警察署へ提出した。



## 3. まとめ

年間を通じて生徒の交通安全意識向上のための取組を行ってきた。しかし、危険というものは訓練直後などの交通安全意識が高い時ではなく、運転に慣れてきた時に、ちょっとした油断や判断ミスで生まれるものである。学校として、生徒が常々車両を運転することは危険と隣り合わせであること、責任が生まれることを自覚させる継続的な指導を工夫していきたい。